

山形県地域公共交通計画及び山形県地域公共交通計画利便増進実施計画の 進捗状況と評価について（令和3年度末時点）

1 目標数値の進捗状況

新型コロナの影響等により、策定時からの数値が下回っている項目があるものの、計画1年目で既に目標値に到達した項目、計画策定時よりも数値が上回っている項目が約4割あることから、全体としては概ね順調に進捗している。

	目標到達	目標未達だが 策定時を上回る	策定時と横ばい	策定時を下回る	合計
項目数	6項目	4項目	5項目	9項目	24項目
	25.0%	16.7%	20.8%	37.5%	(100%)
項目数	2項目	2項目	0項目	9項目	13項目
※	15.4%	15.4%	0%	69.2%	(100%)

※利便増進実施計画規程項目

2 目標数値のR3進捗状況

計画に規定（別紙1-4参照）された分類別に評価すると、下記のとおり。Aが9項目、Bが6項目、Cが9項目となっている。目標別にみると、中目標（1）[データの集約・共有]はAが6項目中5項目と特に順調に進捗している。

一方、新型コロナ感染拡大による移動自粛など社会経済が制限された影響等により、大目標や中目標（3）[移動の軸となる公共交通事業（鉄道・バス・タクシー）の維持・強化]の項目の進捗が遅れている状況である。

	A (R3目標到達)	B (R3目標未達だが 策定時を上回る又は、横ばい)	C (策定時を下回る)	合計
項目数	9項目	6項目	9項目	24項目
	37.5%	25.0%	37.5%	(100%)
項目数	3項目	1項目	9項目	13項目
※	23.1%	7.7%	69.2%	(100%)

3 目標数値の進捗状況を踏まえた取組みの方向性

令和2年度から令和3年度にかけては新型コロナウイルス感染症がまん延し、緊急事態宣言等の発令により、社会経済活動の制限、ひいては移動の自粛等により、特に交通事業はひっ迫した状況であった。

本来であればC評価である項目は目標の見直し等が必要であるが、計画1年目の評価であることから、目標の見直しはせず、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の動向を注視しながら、まずは各主体が目標達成に向けた事業を強力に推進していくこととする。